

令和3年2月4日開催

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 公安委員長挨拶

「昨日は立春であり、前日の節分は124年ぶりの2月2日となったが、今後は4年に1度、2月2日が節分になるという。

中学校ではこの時期に、立志式（立春式、元服の式）を行っていた。満14歳を迎える中学2年生を対象として、社会の一員となり、精神的に大人になる年齢であることを自覚させるものである。14歳は、刑法においても裁かれる年齢であり、こうした式を行ってでも、わきまえさせないといけない節目となる。

子供の精神年齢について、評論家等は、およそ4歳幼くなっているといい、大学生になりやっと自立を迎えるという意見もある。原因としては、人生100年時代と言われ、全体的に間延びしたこともあるが、一時のみであったが子供たちに競争させない風潮の中で、大人が子供に失敗させないように丁寧に対応したため、子供の自立を遅らせていくこととなったという説もある。孔子の論語に、『15にして学に志す、30にして立つ、40にして惑わず』というものがあるが、こういう昔からの中国の詩が日本でも尊ばれている。子供たちの精神年齢の幼さが良いことか悪いことかは分からないが、孔子の言葉の意味は、失いたくないものである。」旨の発言があった。

2 報告

(1) 令和3年度当初予算(案)の概要

警察本部

令和3年度当初予算(案)の概要について報告があった。

(2) 令和2年度2月補正予算(案)の概要

警察本部

令和2年度2月補正予算(案)の概要について報告があった。

(3) 令和2年度情報セキュリティ監査の実施結果

警察本部

「毎年行っている情報セキュリティ監査である。監査の実施期間は、令和2年9月2日から11月20日までの間であった。対象所属は、43所属（本部内31所属及び12警察署）であり、監査項目は、情報セキュリティの日の取組状況、情報セキュリティに関する指導・教養の実施状況等であった。監査結果は、改善・指導事項はあったが、職員の故意や重大な過失によるものはなかった。監査結果に基づく対策としては、改善・指導の対象所属に対し、改善事項等の是正を指示し結果の報告等を求めることとした。」旨の報告があった。

委員

[意見] 「職員一人ひとりのセキュリティ意識を高めていってほし

い。」

(4) 令和3年度組織体制の整備方針

警察本部

令和3年度組織体制の整備方針について説明があった。

3 話題

令和2年機動警察通信隊活動状況

警察本部

令和2年機動警察通信隊活動状況について報告があった。

4 総括

本部長

「3点述べる。

1点目は、情報セキュリティ監査の実施結果に関してである。セキュリティ監査は毎年実施しているが、公安委員会への報告は初めてと承知している。県警察での状況について、公安委員会への報告の必要性を感じたこと及び各部署で貸し出し等している機器等もあることから、各部長にも聞いていただき、情報セキュリティ対策の重要性を認識して取り組んでほしいという意味からである。

2点目は、令和3年度の組織体制の整備方針に関してである。組織のデジタル化の推進については日本全体で取り組む中、県民の方々の利便性向上のため、各種書類の押印廃止、押印欄の削除等を進めている。しかしながら、押印欄の廃止自体が目的化してはならず、業務の合理化・効率化につながることを目的であるので、そうした観点で取り組みたい。また、県警察におけるデータの分析力についても高めていきたい。

3点目は、同じく組織体制に関することであるが、体制強化や自動車警ら隊の運用について申し上げた。増員等の影には削減があるので、成果が求められる。今回は、それぞれ単独業務で割り振っていた人員を、複数業務を行うため統合するもの。以前、上代委員長もおっしゃっていたが、島根は体制が少ない中で、一人が一つの業務だけを行っては効率も悪いので、何役もやる方法しかないと思っている。そして、形式的ではなく、実質的な成果を出すことが大事であり、来年には、それぞれの増員効果がどうであったか説明できるように取り組んでいく。」旨の発言があった。